

編集方針

「統合報告書 2023」発行にあたって

「統合報告書 2023」は、商社としての特徴を明確にするため、兼松グループの組織の力そして個の力として、①グループ一体経営の強化、②人的資本経営、に焦点を当て作成いたしました。

グループ一体経営の強化については、一般の兼松エレクトロニクス株式会社ならびに兼松サステック株式会社の完全子会社化を機に、さらにグループ一体となって社会課題解決、特にデジタルトランスフォーメーション(DX)・グリーントランスフォーメーション(GX)の推進を一層加速させ、「future 135」の達成とその次のステージを見据えた取組みを示しています。また、人的資本経営については、当社グループの最大の財産である人的資本について基本方針を策定したこともあり、あらためて特徴・強み・課題を明確にしました。

なお、本報告書の作成にあたっては、各関連ガイドラインや過去の報告書に対するアンケート回答なども参照し、全社横断的に各部門と相互協力しながら編集、取締役会での議論も経たうえで発行しています。その作成プロセスは正当であり、記載内容が適切であることを表明します。

兼松グループは、今後も「統合報告書」を株主や投資家の皆さまをはじめすべてのステークホルダーの方々と対話のツールとして活用し、開示の充実と企業価値向上に努めて参ります。



取締役 執行役員
財務(広報・IR)、
主計、営業経理担当
榎谷 修司

組織の力

グループ一体経営の強化 CSV 経営 / 中期ビジョン「future 135」の完遂

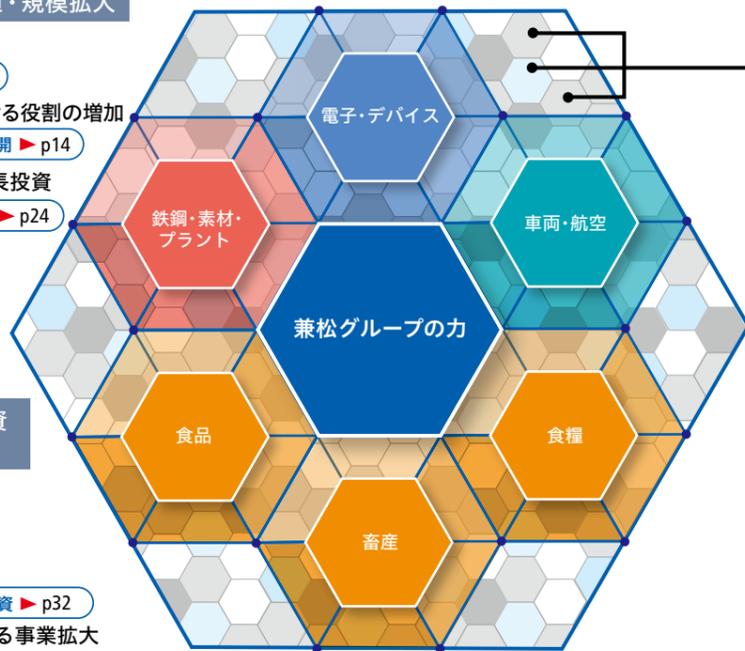
- 社会課題解決を念頭とした事業
 - サステナビリティ推進委員会委員長メッセージ ▶ p34
- DX 戦略
 - DX推進委員長メッセージ ▶ p28
- GX 戦略
 - GX推進委員長メッセージ ▶ p30
- グループ一体経営の強化
 - 巻頭特集 ▶ p2
- コーポレート・ガバナンスの強化
 - 会長・社外取締役対談 ▶ p62

安定基盤・付加価値・規模拡大

- ネットワーク拡大
 - 各部門ページ ▶ p80~
- サプライチェーンにおける役割の増加
 - ビジネスモデルと事業展開 ▶ p14
- 強固な財務基盤と成長投資
 - 財務担当役員メッセージ ▶ p24

イノベーション投資 (種まき)

- 市場創造
- 新事業への投資
 - 社長メッセージ ▶ p16
 - 特集:イノベーション投資 ▶ p32
- M&A、業務提携による事業拡大
 - 中期ビジョン「future 135」 ▶ p22



個の力

人的資本経営

- 企業理念の浸透
 - 企業理念 ▶ p9
- 社長の熱意の訴求
 - 社長メッセージ ▶ p16
- 人的資本基本方針
 - 人事担当役員メッセージ ▶ p26
 - 人的資本経営 ▶ p49
- 人材育成、環境整備によるエンゲージメントの向上
 - 人材育成・環境整備 ▶ p50

編集方針

兼松グループでは、IFRS 財団「国際統合報告フレームワーク」、経済産業省による「価値協創ガイドランス」、および国際規格ISO26000を参照し、統合思考で捉えた内容として本誌を作成しています。当社グループへのご理解をより深めることができたら幸いです。



将来見通しに関する注意事項

本統合報告書には、兼松グループの今後の計画や戦略など、将来見通しに関する記述が掲載されています。これらの将来見通しにはリスクや不確実性が内在しており、実際には、当社グループの事業領域を取り巻く経済環境や市場環境、為替相場など、様々な要因により記述とは大きく異なる結果が生じる可能性があります。

報告対象範囲等

発行年月：2023年9月
対象期間：2022年4月1日～2023年3月31日
(一部に報告対象期間以前・以後の情報を含みます)
対象組織：兼松株式会社および兼松グループ
会計基準：別途記載がない限り、2014年3月期以前は日本基準、2015年3月期以降は国際会計基準(IFRS)による記載です。

目次

2 巻頭特集

グループ一体経営の強化



価値創造の原点

- 8 兼松グループの源流 / Who We Are
- 10 兼松グループのあゆみ
- 12 価値創造プロセス
- 14 ビジネスモデルと事業展開

兼松グループの価値創造

16 社長メッセージ



- 22 中期ビジョン「future 135」
- 24 財務担当役員メッセージ
- 26 人事担当役員メッセージ
- 28 デジタルトランスフォーメーション(DX)推進委員長メッセージ
- 30 グリーントランスフォーメーション(GX)推進委員長メッセージ
- 32 特集:イノベーション投資

兼松の基盤

34 サステナビリティ推進委員会 委員長メッセージ

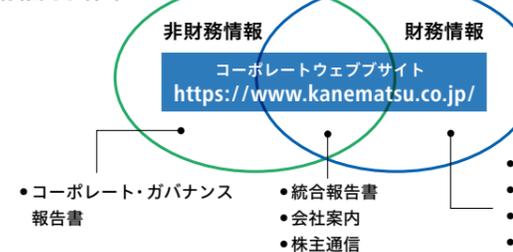
- 36 マテリアリティ相関図 / マテリアリティ特定プロセス
- 38 マテリアリティの進捗
- 40 マテリアリティの取組み
- 40 持続可能なサプライチェーンの構築
- 40 兼松グループのサプライチェーンマネジメント
- 42 人権尊重への取り組み
- 45 脱炭素社会に向けた取組み
TCFD 提言に基づく情報開示
- 48 地域社会との共生
事業を通じた社会貢献
- 49 多様な働き方を実現する環境づくり
- 49 人的資本経営
- 50 人材育成
- 54 環境整備

62 会長・ 社外取締役対談



- 65 社外監査役メッセージ / 監査室長からのメッセージ
- 66 コーポレート・ガバナンス
- 76 取締役・監査役および執行役員
- 78 部門別概況
- 80 電子・デバイス
- 82 食品
- 84 畜産
- 86 食糧
- 88 鉄鋼・素材・プラント
- 90 車両・航空
- 92 財務・ESG ハイライト
- 94 財政状態および経営成績の分析
- 96 財務諸表
- 100 主要連結子会社および関連会社
- 101 会社情報

情報開示体系



IR情報の開示

兼松グループは、すべてのステークホルダーの皆さまへ、迅速、的確かつ公平な情報を開示することを通じた透明性の確保と対話の促進に努めております。

- 定時株主総会(年1回)
- 決算説明会(年2回)
- 機関投資家/アナリストとの社長 / 財務担当役員面談

- 有価証券報告書 / 四半期報告書
- 決算短信
- 決算ハイライト / 補足説明資料
- 決算説明会資料